

はいなん吉田病院 2025年に向けた具体的対応方針（平成30年12月）

I 現状と課題

1 病院の現状

- ・許可病床数、稼働病床数：慢性期療養病床 180 床
- ・診療科目：内科・リハビリテーション科
- ・診療実績：療養病棟入院料2 平均在院日数 337.3 日 病床稼働率 94%
- ・医師数：常勤 2 名、非常勤 2 名（日当直のみ非常勤約 15 名）
看護職員数：常勤 36 名、非常勤 16 名
- ・病院の特徴（担う疾患の分野等）

180 床の医療療養病棟として、急性期を脱した亜急性期及び慢性期の患者様の療養、介護を目的としている。受け入れ疾患は、主に人工呼吸器管理が必要な患者様、結核の急性期等の特殊な感染症の患者様を除き、全般的に亜急性期から慢性期にかけての療養、介護を必要とする患者様です。病床は、4 人部屋が中心で、より管理の必要な患者様には、2 人部屋での対応も行なっている。

その他、リハビリテーションにも力を入れており、PT、OT、ST の各セラピストを揃え、対応している。また、療養上の心理・社会的な問題に対しても、ソーシャルワーカー2 名を配置し、入院から、退院までの経過の中で必要に応じて対応している。

2 病院の課題

志太、榛原地域でも、特に島田市南部、金谷地区、吉田牧之原地区に、医療療養の社会資源が少ないため、地域の慢性期医療の担い手として、また、急性期医療を支える立場としての役割が期待されていると考えられる。その為には、受け入れの迅速な対応と、院内の患者様の適切な療養環境へのシフトが課題として考えられ、繊細かつ迅速な退院援助が課題と考えている。

II 今後の方針

1 地域において今後担うべき役割

- ・急性期治療を終了した、亜急性期から慢性期の患者様の療養環境の提供。
- ・在宅での療養、介護の継続の為にレスパイト的入院環境の提供。（介護保険サービス外としての）
- ・慢性期医療から、介護中心の患者様への適切な療養環境を提供するための情報提供。
- ・急性期医療の後方支援だけでなく、前方支援として、在宅の患者様が急性期対象外と判断された場合の軽度な治療療養機関としての一翼を担う。
- ・地域の療養、介護についての情報発信源として、行政やケアマネージャーと連携し、介護支援のサポートを行なう。

2 4 機能ごとの病床のあり方

(1) 今後の方針（病床機能報告から転記）

| | 現在 (平成30年度病床機能報告) | | 将来 (2025年度) |
|-------|----------------------|---|----------------|
| 高度急性期 | | → | |
| 急性期 | | | |
| 回復期 | | | |
| 慢性期 | 180 | | 180 |
| (合計) | 180 | | 180 |

(2) 今後持つべき病床機能等（病床機能の転換を検討している場合に記載）

- ・ 基本的には現在の慢性期（療養病棟）を維持する方向であるが、入院基本料等の内容により、一部もしくは全面的に検討する。

(3) 具体的な方針及び整備計画（病棟機能の変更がある場合）

- ・ 病棟機能の変更理由：入院基本料（医療区分の比率、内容）により維持できなくなる可能性がある。
- ・ 病棟の改修：一部必要。旧榛原郡には療養病棟が榛原病院と当院のみの為、出来る限り療養病棟を維持する方向ではあるが介護医療院への転換も考えていきたい。具体的計画は方向性がはっきりするまで、未定。

(4) 年次スケジュール（病棟機能の変更がある場合）

未定

3 診療科の見直し（見直しを検討している場合に記載）

(1) 今後の方針

| | 現在 (本方針の策定時点) | | 将来 (2025年度) |
|-------|------------------|---|----------------|
| 維持 | | → | |
| 新設 | | → | |
| 廃止 | | → | |
| 変更・統合 | | → | |

(2) 具体的な方針及び計画